



本事業は、SDGsの「17 パートナリシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2026年5月14日（木）

愛知県経済産業局海外連携推進課

海外連携グループ

担当 中野、土本

内線 5189、5181

ダイヤル 052-954-7474

知事の米国渡航中の行事結果について

2026年5月13日（水）知事は米国テキサス州オースティンにて、オースティンにおけるスタートアップ・エコシステムの中核であるテキサス大学オースティン校を訪問し、ソニア・ファイゲンバウム副学長と面談しました。その後、世界最大級の複合イベント「サウス・バイ・サウスウエスト（SXSW）」の主催団体であるサウス・バイ・サウスウエスト社CCOのピーター・ルイス氏と面談しました。

1 テキサス大学オースティン校ソニア・ファイゲンバウム副学長との面談

（担当課：海外連携推進課）

（1）日時

2026年5月13日（水）午前10時から午前10時45分まで

（日本時間5月14日（木）午前0時から午前0時45分まで）

（2）場所

テキサス大学オースティン校（オースティン市）

（3）面談者

ソニア・ファイゲンバウム副学長

（4）愛知県側出席者

大村秀章知事

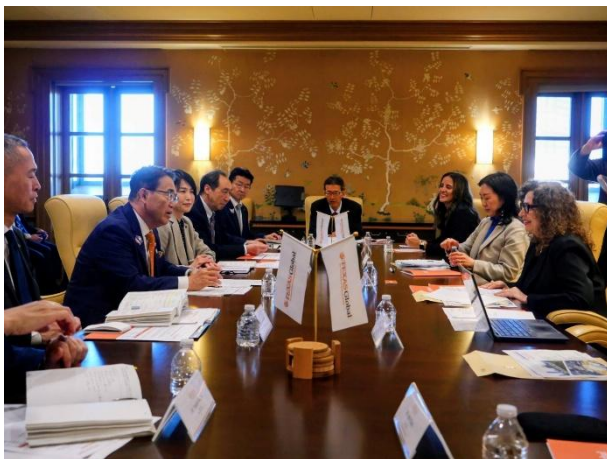
（5）内容

大村知事は、テキサス州の州都オースティンのスタートアップ・エコシステム形成において大きな役割を担ってきたテキサス大学オースティン校を訪問し、ファイゲンバウム副学長と2025年4月以来、6回目となる面談を行いました。冒頭、ファイゲンバウム副学長より「日本からこうしてお越し頂き、知事の強いコミットメントを感じている。2018年から続く愛知県との連携関係に感謝する。両者の信頼が築き上げた関係をこれからも深化させていきたい。」との発言がありました。また、1月に開催した「TechGALA Japan 2026」においてテキサス大学オースティン校とSXSWによるセッションやオフィスアワー（個別相談会）を実施したことに触れ、「このような人的交流を通して、愛知県のスタートアップ・エコシステムの進展に関われることを光栄に思う。テキサス大学オースティン校と愛知県のパートナーシップは時間をかけて成熟してきた。これから更に将来に向けて何ができるかを考えていきたい。」と述べました。

大村知事からは、これまでの連携事業での協力や、「TechGALA Japan 2026」でのセッション登壇やオフィスアワー実施に対する感謝を述べるとともに、「12月に開催を予定している次回の『TechGALA Japan 2026:BEYOND』でも、ぜひセッションへの御登壇やオフィスアワーの実施を頂き、STATION Ai のスタートアップのグローバル展開に向けて、お力添えを頂ければと思う。」と話しました。そして、開業から1年半となるSTATION Ai の現状について説明し、「STATION Ai をアジア No. 1 のイノベーション・ハブとすることを目指していく。今後とも連携プログラムや『TechGALA Japan』でのセッション等を通して連携を強化していきたい。」と協力を求めました。

これに対し、ファイゲンバウム副学長は、「知事のビジョンを共有頂き、感謝する。我々は愛知県の経済発展に貢献したいと考えている。」と述べたうえで、「テキサス大学オースティン校は全米の中でも学生のアントレプレナーシップが優れている。そこで、学生が起業したスタートアップが連携プログラムを通してSTATION Ai に参加することを一緒に検討していきたい。また、前回の『TechGALA Japan』では、私自身の訪問は叶わなかったが、次回の『TechGALA Japan 2026:BEYOND』ではぜひ愛知を訪れたい。オフィスアワーについても回数を増やすこと等を検討したい。」と更なる連携強化に向けた提案がありました。

これを受けて、大村知事は、「今後とも貴学とのパートナーシップをより発展させ、グローバルなエコシステムを形成するとともに、愛知とテキサスの両地域がともに成長を続けていける win-win の関係を築いていきたい。」と述べ、連携を一層強化していくことを合意しました。



ファイゲンバウム副学長との面談の様子



ファイゲンバウム副学長との記念品交換

2 SXSW（サウス・バイ・サウスウエスト）社 CCO ピーター・ルイス氏との面談

（担当課：海外連携推進課）

（1）日時

2026年5月13日（水）午前11時から午前11時50分まで

（日本時間5月14日（木）午前1時から午前1時50分まで）

（2）場所

SXSW Center（オースティン市）

(3) 面談者

ピーター・ルイス SXSWS社CCO

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

大村知事は、テキサス州の州都オースティンで毎年3月に開催される世界最大級の複合イベント「SXSWS」の主催団体であるSXSWS社のCCOピーター・ルイス氏と今年1月以来、2回目となる面談を行い、冒頭でSXSWS2026の成功へのお祝いの言葉を伝えました。また、「2019年から2024年まで、4回にわたりSXSWSに愛知県の学生チームを派遣してきた。そして、2026年3月に開催された『SXSWS 2026』では、2025年に続き、県内スタートアップ3社の出展を支援した。2027年に開催される『SXSWS 2027』においても、同様に県内スタートアップの出展を支援する予定であり、今後ともSXSWS社からの支援をお願いしたい。」と述べました。

さらに、2026年1月27日に開催したグローバルイベント「TechGALA Japan 2026」でのセッションに登壇いただいたことへの感謝を述べ、「是非、次回開催予定の『TechGALA Japan 2026:BEYOND』においてもセッションに登壇頂きたい。SXSWSやテキサス大学オースティン校といったテキサスの関係機関と連携して、共にグローバルなエコシステムを構築していきたい」と述べました。

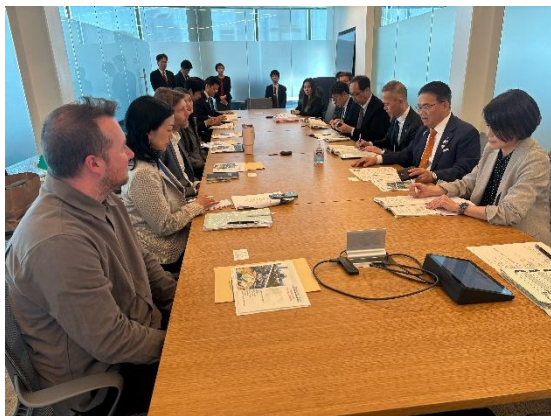
これに対してルイスCCOからは、「『TechGALA Japan』は地域全体のイノベーション向上につながる特別なイベントであると感じている。前回参加して、ダイナミックなスタートアップや企業と出会うことができた素晴らしい時間であった。次回の『TechGALA Japan 2026:BEYOND』にも是非参加したい。」との発言がありました。更に「SXSWSのようなイベントにとって、海外からの参加は非常に重要であり、日本・愛知から参加が推進力をもたらしている。是非、『SXSWS 2027』にも招待させてほしい。お互いのグローバルイベントを通じて、今後も引き続きパートナーシップとコラボレーションを強化していきたい。」と述べました。

更にルイスCCOは、「SXSWSは、ロンドンやシドニーでも開催し、グローバル展開を強化してきた。現在、アジア地域を始め、新しい開催地を探している。他国で開催する際は、オースティンのコピーではなく、その地域のローカルな文化を前面に出すことを重視している。」と述べました。これに対し大村知事からは「我々の『TechGALA Japan』は、テクノロジーにフォーカスしているが、SXSWSは、音楽やフィルムなどエンターテインメントの分野に相当なノウハウを持っているので、一緒にコラボレーションできたら理想的である。SXSWSをアジアで開催する際には、ぜひ協力させて頂きたい。」と発言しました。

ルイスCCOからは、「お申し出に感謝する。愛知県の厚い製造業の集積とスタートアップとの連携はとても魅力的であり、世界に誇れるものだと思う。我々のイベントの開催にあたっては、人間関係を重視しており、これからも愛知県とのパートナーシップをより強固なものにしていきたい。」との発言があり、今後も両者の連携関係を強化していくことを確認しました。

【SXSW 概要】

- 目的 革新的なテクノロジーや厳選された音楽・映画の発表、投資家との出会いの場の提供
- 内容 インタラクティブテクノロジー・音楽・映画の大規模複合イベント
- 出展社数 インタラクティブ部門：約 250 社（見本市のみ）
音楽部門：約 1,250 アーティスト
映画部門：約 400 本
- 参加者数 インタラクティブ部門：3 万人以上
音楽部門：3 万人以上
映画部門：1 万 5 千人以上
- その他 毎年 3 月に開催。インタラクティブ部門は、ツイッター社（現 X 社）や
エアビーアンドビー
Airbnb 社が急成長するきっかけとなった。



ピーター・ルイス CCO との面談の様子



ピーター・ルイス CCO との記念撮影